

## ヤマザクラ

2017年(平成29年)7月20日(木)発行

## 第 13 回通常総会開催

第 13 回通常総会は平成 29 年 6 月 18 日 (日) 午後 2 時から「いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘」で開催されました。開会にあたり NPO 法人いわきの森に親しむ会を代表して木田理事長からご挨拶がありました。

## 理事長挨拶要旨

これまでに会員の皆さんの思いを形にしたのが「森の工房」や「炭焼き窯」、「自然エネルギーの学習施設」等で、3 年前からは栗園跡地を 15 年計画でクヌギの薪炭林にしようと毎年植樹を行っています。また、山荘周辺に自由に採って食べられる実のなる木を植えており、今年にはユスラウメが食べられました。会員の皆さんのなかで必要のなくなった実のなる木があればご提供願います。

当会も高齢化のため活動範囲を縮小していきます。それは、21 世紀の森公園の冒険ゾーン整備と戸渡のソバ畑等で、今後は活動を湯ノ岳山荘周辺にしたいと思えます。

会員の高齢化が進んでいますので、無理のない範囲で「安全第一に楽しく」をモットーに活動してください。

本日の総会では、平成 28 年度事業報告、平成 29 年度の事業計画をご提案しますので、慎重審議をお願いしたい。



挨拶に立った木田理事長

以上

## ○司会者より本日の総会出席者について

正会員総数 120 名。総会出席者 30 名、委任状 58 名、計 88 名。となり会員の過半数に達しており、総会開催の条件を満たし総会成立の報告がありました。

総会の議長には武田征也さんが選出され、議長より議事録署名者に小林正美・若森秀樹さんが任命されました。

○議事に入り松崎副理事長より平成 28 年度事業報告、平成 28 年度会計報告されました。引き続き猪村監事より監査報告され慎重審議の結果平成 28 年度事業は原案通り承認されました。」1



議長の武田征也さん



平成 28 年度事業・会計報告する松崎副理事



監査報告の猪村監事

## 【平成 28 年度事各種業報告】（主な事項について）

### 1. 市民の森づくり事業活動

#### (1) 活動人員

昨年比 8% 増。これは、苗畑関係作業の本格化と、国際ワーキングキャンプの受入れによるものです。

#### (2) 安全対策

「安全第一に楽しく」をモットーに活動し無事故で過ごすことができました。

#### (3) 湯ノ岳

全体で 40% 増。（苗畑関係作業 76% 増、栗園跡地森林整備 68% 増）

#### (4) 岩出・好間

昨年度同様冬水田んぼとカタクリ自生地の笹刈を実施しました。

#### (5) いわき明星大学学校林

自然体験プログラムのための演習林としての機能維持するための整備を行いました。

#### (6) 新舞子海岸林

磐城森林管理署といわき林業青年会議所の協力を得て海岸林再生のため「苗木 for いわき」のプロジェクトに対して多くのボランティアの参加で整備がおこなわれました。

#### (7) 21 世紀の森・戸渡里山

活動できませんでした。

#### (8) 今後の課題

- ① 苗木作り事業は一定の目途をつけることができましたが苗木（生き物）の取扱には多くの学習と経験が必要となっています。
- ② 森林整備の担い手確保のための一つとして国際ワーキングキャンプの受け入れをしましたが、今後は多くの若者達が気軽に参加できる仕組み作りが求められています。
- ③ 海岸林再生整備については、若手スタッフの技術の向上対策が必要となりました。

### 2. 森との付き合い方の勉強会、プログラム開発に係る事業活動

#### (1) 参加者数

昨年比 34% 減。これは、昨年実施した森林と市民を結ぶ全国の集い関係と筑波大学関係の支援が終了したことによります。

#### (2) 調査活動の人員は過去最少にとどまりました。

### 3. 自然案内人の育成並びにインタープリテーション事業活動

#### (1) 自然案内人養成

例年行っている時田先生（自然保護協会）によるもののほか、本会スタッフによる自然案内人養成基礎講座を実施しました。

#### (2) 自然観察会・自然体験活動

昨年比 12% 増。湯ノ岳山荘における参加者は 49% 増。その他のところの参加者イベント等の減少により 14% 減となりました。

### 4. 森林や林業に関する啓蒙事業活動

#### (1) うつくしま 21 森林づくりネットワークの地方推進組織としての活動

4/21 総会（大玉村）・7/15 森づくり検討会（大玉村）・11/12～11/13 森づくり活動交流発表会（泉崎村）・3/17 森づくり検討会（大玉村）参加活動してきました。

#### (2) 自然観察・自然体験活動の中で森林環境税の解説や森林・林業の現状について説明しました。また 2018 年本県で開催される第 69 回全国植樹祭の PR をおこないました。

### 5. 森に関する各種情報の受発信事業活動

#### (1) 会報「ヤマザクラ」を計画通り年 4 回発行しました。

#### (2) 森に関する各種情報は毎月会員を中心に発信しました。

#### (3) ホームページ、Facebook により広く一般に発信しました。

#### (4) 湯ノ岳山荘の掲示板には森に関する各種情報を掲示しております。

## 6. その他の本会の目的達成に必要な事業活動

(1) 指定管理者として「いわき市林業研修センター・森林休養施設湯ノ岳山荘」の管理運営を行いました。利用者総数 3,656 人となり対前年比 3.2% 減でした。



○役員任期満了に伴い役員改選が行われました。

下記の方が満場一致で承認されました。（\*新任）

- ・理事長 木田章一
- ・副理事長 松崎和敬 池野上幸弘
- ・理事 佐藤行年 桑原敏和 佐藤幸二 佐藤 烈 \*松本 學 \*鈴木小百合 \*円谷美奈子
- ・監事 伊藤貞夫 猪村珠紀

○平成 29 年度事業計画及び予算が 松崎副理事長より提案されました。

審議の結果平成 28 年度事業及び予算は原案通り承認されました。

### 【平成 29 年度事業計画について】

今年度の事業実施方針を記載します。

- 「安全第一に楽しく」をモットーに会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ために取り組んでいくことを基本とします。
- ろうきん森の学校事業の一層の充実強化を図っていきます。
- 湯ノ岳フィールド（栗園跡地を含む）の有効活用策の検討とそれに伴う整備計画の取りまとめを行っていきます。

### 〔総会後の懇談会〕

新任役員の方々より自己紹介を含めて挨拶がありました。また近況等話し合い楽しい懇談会でした。

防火訓練実施結果について	12.
自然観察班蜚の観察会	11.
労金連合会自然体験活動	11.
ふくしま森づくり大賞受賞	10.
開催日	1.平成29年5月21日
	2.平成29年6月18日
	3.平成29年7月16日
ろうきん森の学校	9
いわき自然案内人養成基礎講座	8
プログラム勉強会グループ活動	6
木工クラフト班の活動	6
農作業 2017 春の活動報告	5
森林整備班の定例活動	4
海岸林再生整備参加者	
森林整備班の活動	4
第十二回通常総会	1
目次 主な内容	P

## 【森林整備班】

### 1. 森林整備班の定例活動一覧表 (H29. 4. 19~7. 15)

活動稼働延べ日数 13日 活動人員57名

月日	曜	実施事項	参加者数
4/19	水	薪材の玉切と搬出	3
4/26	水	薪割り	9
5/10	水	休耕水田復元作業	6
5/17	水	〃	4
5/24	水	〃	4
5/31	水	山荘・工房周辺の整備 (草刈)	4
6/ 7	水	〃	5
6/14	水	休耕水田復元作業 (水路他)	4
6/28	水	栗園跡地管理道路整備 (草刈)	4
7/ 1	土	山荘観察歩と道管理道の巡視	2
7/ 5	水	山荘周辺の整備 (草刈)	4
7/12	水	復元水田への歩道の整備他	4
7/15	土	復元水田への歩道の整備他	4

### 2. 薪割りについて

今回は定例整備日程では処理し切れない程の薪材でしたので、多くの会員の協力をいただき、ほぼ今年の燃料は積み上げることが出来ました。

定例整備以外に (4/21 (金) 7名、4/28 (金) 7名 延 14名) 協力していただいた。

ご協力有難うございました。



薪割りと木小屋への積み上げ

### 3. 休耕水田 (棚田) の復元について

水車の下流に昔の水田 (小さな棚田) を復元し今年田植をしようということになり復元に取り組みました。



5/10 日当たりを良くするため支障木伐倒準備の作業開始しました



5/27 自遊学キャンプ参加児童が田植後の水田の林床整理

### 4. 今後の予定

ろうきん森の学校管理道路の維持管理と栗園跡地の育樹 (下刈り) が主活動となります。作業は屋外ですので健康管理に十分留意し熱中症を防止し安全に活動したいと思います。

森林づくりに興味のある方へ定例活動日は毎週水曜日と第一と第三土曜日ですので山荘にお出かけ下さい。お待ちしております。(伊藤)

## 海岸林の再生整備参加者数

(2017年4～6月) 松崎

月/日	曜日	整備内容	本会 けぎ	ボランティア	その他	計
4/22	土	地拵え/植樹	2	10	—	12
4/26	水	〃	4	150	—	154
5/11	木	〃	2	7	—	9
5/13	土	整備/地拵え/植樹	5	56	—	61
5/19	金	植樹	5	5	—	10
5/20	土	整備/地拵え/植樹	4	41	—	45
5/27	土	整備/地拵え/植樹	4	18	—	22
5/27	土	整備/地拵え/植樹	5	15	—	20
5/28	日	整備/地拵え/植樹	5	15	—	20
6/3	土	草刈り/地拵え/植樹、	6	62	—	68
6/11	日	草刈り/地拵え/植樹(国有林外)	3	42	—	45
6/24	土	草刈り/地拵え/植樹(国有林外)	3	34	—	37
計			48	455	—	503



海岸林の整備1

### 【農業班】 農作業 2017年夏の活動報告

農作業班 太田 満

#### 1. 自家製さつま芋の苗植え付け作業

5/8、29、6/24の3回に分けて自家製苗の植え付け作業を皆で行いました。(紅東と金時で約300本)

#### 2. 各種野菜の収穫作業

・5/29、6/5 タマネギの収穫。・6/5、ソラマメの収穫。(ソラマメは収穫後、4軒の地主さんへそれぞれ2～3kgを届けました)



さつま芋の植え付け作業



ジャガ芋の収穫の写真

## 【農業班】

### 3. その他

- 1) 4/30、芝山のいわき市牧場へ馬糞堆肥を取りに行きました。（軽トラ2台）
- 2) 6/28、畑の周囲にスズメ蜂トラップを仕掛けました。
- 3) その他、種まきや苗の植え付け（里芋、カボチャ、枝豆、落花生、長ネギ、スイカなど）。
- 4) 畑の周囲、農道の草刈りを随意行いました。
- 5) ブルーベリーの収穫開始予定は7月22日からになります。

## 【木工班クラフト班の活動】

毎月第1、第3火曜日に実施。現在の木工班の人数は男性7人、女性7人のスタッフ3人を合わせて17人です。毎回1、2名の欠席はあるものの、順調に制作しています。

今季は、男性が木組み弁当箱（写真）を作成中で、女性は手さげ調味料入れ（写真）と爪楊枝入れを完成しました。男性は難しい物が多く日数がかかりますが、女性は家庭で使う実用品を早く作る傾向があります。



この木工班で制作したものの中で、外部からの自然体験（木工）で来場者が作成しているもの（調味料入れ、キッチンペーパーホルダー等）があります。〔桑原記〕

## 【プログラム班】

### プログラム勉強会グループの活動

佐藤 烈

冬から春にかけては、学校も冬休みや春休みがあり学校支援の予定が少ない時期です。この間にプログラム班では、これまでの内容を検討し個々のアクティビティの改良や新しいメニューを考えたりしていますが、その一方で探訪会を開催しています。

この冬から春にかけては石森フラワーセンター周囲や勿来の関周辺の県立勿来自然公園、岩出の里、それに四時川小川遺伝子保存林へ出かけました。

これら探訪会は何の心づもりも不要でただ参加者として楽しむことができるので、いろいろなことに気づき、驚き、感動するという最も大事なことを体験する大切な時間です。

【プログラム班】

(1)学校等における学習支援活動 (4/1～6/30)

月日	曜日	小学校名	学年	学 習	参加者	支援者
4/25	火	錦東小学校	3	総合学習	31	5
5/18	木	平第6小学校	3	総合学習	45	9
6/2	金	錦東小学校	3	総合学習	31	5
6/8	木	中央台北小学校	4	総合学習	56	10
6/14	水	江名小小学校	3・4	総合学習	39	8

以下に錦東小3年生の総合学習の二回の支援のそれに江名小3・4年生の湯の岳山荘での森林環境学習の支援の概要を報告します。

錦東小学校3年生の総合学習の支援は今年度も4月から1年間に5回予定していますが、今年は天候に恵まれずすでに上表のとおり2回実施されました。

1回目は、校庭の敷地内で1年案観察していく班の木を決め、最初の観察をするとともに春を探してみました。

2回目は班の木がどう変わったか、また虫探し、いろいろな色の花ビラを観察ノートにこすりつけ魔法の水をスプレーしたりしました。



錦東小学校校庭で観察する3年生児童

江名小の3・4年生の森林環境学習も例年と同じく春、秋の年2回予定されていますが、6月14日雨が心配される中、無事実施されました。

午前は3年生を4班編成し丸山公園と2コースを、4年生は3班で3コースを歩き自然の観察をしました。午後からは学年ごとに分かれてカスタネットを作りました。



水車の見学説明を受ける午後カスタネット作る江名小学校3・4年生

## いわき自然案内人養成基礎講座

佐藤烈

去る6月10日(土)、6月11日(日)それに6月25日(日)の3日間湯ノ岳山荘において平成29年度いわき自然案内人養成基礎講座が開催されました。

これは昨年冬に開催された第1回の反省を受けて、受講生にとってもよいと思われる春に実施するよう昨年度末に計画し、4月に日程を確定し、それに合わせて募集方法を考えながら走るという忙しいスケジュールの中で、スタートしました。受講者が集まるのかという不安を抱きながらの実施でしたが、新聞社で発行している情報紙に募集情報が掲載されると多くの市民からの受講申し込みがあり、予定していた10人を超えてしまいました。

この講座の内容は、昨年度とほぼ同じで概ね次のとおりでした。

- 座学については「いわきの植生について」と「野外体験における危険とその対策について」それとコース案内板を用いた最小限の基礎知識についての講義のみを行った。(それ以外は、今後時機を見てステップアップ研修を行うかまたはOJT、つまり野外活動をとおして行うこととする。)
- 講座の最終日に受講者が一人ずつガイドの実践をしてもらうことを最終目標とし、そのためにまず始めに、観察班のメンバー2人によるモデルガイドを経験してもらい、案内人の役割とはどんなものか実感してもらった。

次いで自分で実演する準備としての素材探しをし、それを使って伝えたいことをまとめ(テーマ)、一つのプログラムを作成してもらいました。

最後にはそれもとに他の受講者とスタッフの前で実演してもらいました。

結果と今後の課題については次のとおりです。

- 受講者がガイドの実践をするという目標はハードルが高すぎるという懸念が計画立案の過程でありましたが、スタッフは丹念にフォローすることに心掛け、また受講者も熱心に取り組まれた結果、予想以上の成果でした。

(写真 ガイドの実践)



ガイドの実践 1



ガイドの実践 2

- 今回の講座開催については、概ね良好な成果が得られましたが、今後の課題としては、当会が受講者に対し、魅力的な活躍の場を提供できるか、また定期的なステップアップ研修を計画し実施することができるか等の課題があるように思いました。



# ろうきん森の学校

若森秀樹

(平成 29 年 5 月 21 日～平成 29 年 7 月 16 日)

## I. 平成 29 年 5 月 21 日 (日) (天候快晴)

### 1. 実施内容

①自然観察会、②森林療法体験③野外料理④木工クラフト (午後希望者)

2. 参加者 29 名

### 3. 実施結果

①自然観察会と森林療法体験

(3 班に分かれて観察コースに入りました)

花探し班に同行しました。観察した花をリストにチェック。花や葉に触れて名の知らない花は図鑑で調べました。普段は気づかない花が沢山ありました。

途中、セラピー広場で一休み木漏れ日のなかで森林療法体験しました。



名前が分からない花は図鑑調べる



セラピー広場で一休みセラピー広場で一休み森林療法体験する

## II. 平成 29 年 6 月 18 日 (日) (天候曇)

### 1. 実施内容

①自然観察会、②草木染め体験③野外料理④木工クラフト (午後希望者)

2. 参加者 46 名

3. 実施結果 (梅雨入り前の穏やかな曇り空の下、観察会4班と草木染班に分かれて開始しました)。

①自然観察会、

今回は初参加 5 人家族+常連親子 2 人の班に同行しました。

子供は木に張り付いた植物、風邪でカラカラ鳴る木の葉。モリチャバネゴキブリ・カエル・エサを運ぶ蟻の大群に大興奮。何にでも興味を示し自然の中でお母さんと一緒に遊んだことが良い思い出になるだろうと思いました。



四葉のクローバーの探しに夢中



染め上がった作品を太陽にさらし完成

②草木染め体験

タテアイの乾燥葉での草木染め体験でした。今回は前日に染液を作り、今日は生地との織りと染めることを主にしました。参加者は 5 名でした。

### Ⅲ. 平成 29 年 7 月 15 日（日）（天候晴）

1. 実施内容 ①自然観察会、(季節の散歩ガイドツアー・虫の観察)②布ぞうり作り体験  
③野外料理(カレーは大人気でした)④木工クラフト(希望の子供達のみ)

2.参加者 総参加者43名

3.実施結果 ①自然観察会、

虫の観察班は全員捕虫網を手に広場へ。いろいろな虫を捕獲しました、種類は蝶・トンボ・バッタ・カメムシ・セミの抜け殻やカエルまで捕まえ楽しい虫観察捕獲でした。また、捕獲したバッタを持ち帰りスケッチ。詳細な観察でした。



虫の観察会



ぞうり作り



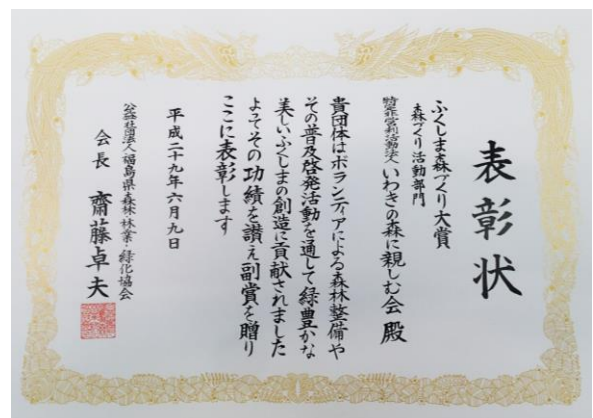
季節の散歩ガイドツアーは自然案内人養成基礎講座受講生体験を含めた観察会でした

## ふくしま森づくり大賞受賞

平成 29 年 6 月 9 日、福島市で開催された、公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会総会の席において当 NPO 法人がふくしま森づくり大賞の森づくり活動部門の大賞に選ばれました。

受賞理由は長年、市民参加による育樹祭や森林ボランティア活動が評価されたものです。

右が表彰状です。



ふくしま森づくり大賞 森づくり活動部門表彰状

## 労金連合会自然体験活動

木田章一

平成 29 年 7 月 8 日（土）労金連合会の新入職員 19 名と家族等計 28 名が来荘し自然体験活動を行いました。

午前中、観察コースで夏の広葉樹の森を観察しました。



森の手入自然観察会



間伐体験

午後は森の手入れとして間伐体験を行い、薄暗かった森が明るくなり見違えるようによくなりました。

子どもたちは、森の工房で木工クラフトを行い好きな作品を作って楽しみました。



### 【自然観察班】

蛍観察会 6月17日（土）18時開始～20時30分終了

観察班としては、今年初めてゲンジホテルの観察会を実施しました。一般募集で、会員外の子供 14 人を含む計 29 人の参加が有り、スタッフ 10 人の体制で行いました。

前半は湯ノ岳山荘でゲンジホテルの生態について、津崎さんが問いかけ形式の解説を行い、後半は渡辺町泉田の現地で 4 班に分かれて観察を行いました。

気象条件にも恵まれ、多くの蛍を見ることができました。一部の母親から、生まれて初めて現物の蛍を見て感動しましたとの話を聞きました。（桑原記）



## 記

- 1 防火訓練実施（日時、場所、参加者）
  - ・ 平成29年6月19日 午前10時から午前11時の間
  - ・ 湯ノ岳山荘内にて
  - ・ 木田理事長外管理者4名（野木・松本・佐藤・安富）



消火訓練内容等の打合せ



訓練用水圧消火器で消火活動の訓練

## 2 訓練内容

（消防法により年2回実施するようになっている）

ア山荘内厨房から出火した想定で、各人の役割分担をきめ、消火活動、消防署通報宿泊者の誘導等実施した。

（特に、旧館から倉庫に抜ける通路を今年の3月に改築し非常口を設置したので、鍵の箇所を破壊しての開放の仕方を周知した）

イ消防署から訓練用の水圧消火器を借用し、全員で発火した目標場所を決めて消火活動を実施した。

ウ 防火訓練は、毎年実施しているが、今年は新たに新鮮な気持ちで、「自分の所は自分で守る」と言う心構えで真剣に取り組んだ。

山荘内では、特に土、日曜日には散歩人が無断で広場等に入ってきており、管理人は、山火事等を防ぐため、散歩人に「火事になりますので、くわえ煙草はしないで下さい・煙草は吸いますか」等その都度声を掛けており、会員の方も、喫煙者を見つけた場合は、山火事防止の為、声かけ運動を実施して下さるようお願いいたします。

## 3 防火訓練管理者講習受講

今年の2月9日から2日間、管理人の佐藤誠一・松本學の2名で、雪の中、明星大学で甲種防火管理者の講習を受講し、最終日の試験も優秀な成績で終える事が出来た。

## 4 終わりに

山荘は、木田理事長が、消防法により管理権原者になっております。これを機会に会員の皆様も火気に対し注意し、防火に関心をもって自宅や山荘から火事を出さないように御協力願います。

【編集後記】学校は夏休みになり、日中元気な子どもたちの姿を見かけるようになりました。大人は暑さにぐったりしてしましますが、子どもたちは汗びっしょりでも元気にかけてまわっています。

体はついていけません、気持ちはパワーをもらって充電完了！

鈴木小百合

（発行）NPO 法人いわきの森に親しむ会

（発行責任者）木田章一（編集担当者）鈴木小百合

（事務局）〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/